

関係機関の皆様

高度被ばく医療支援センター連携会議
事務局

甲状腺簡易測定研修の講義部分のeラーニング化について

【概要】

原子力規制庁からの要望を受け、甲状腺簡易測定研修の講義部分のeラーニング化について、連携会議および研修部会にて検討を行いました。

令和6年度第3回連携会議（令和6年8月8日開催）において、以下の方針が決定いたしましたので、お知らせいたします。

- ・講義1（原子力災害対応）、講義2（甲状腺簡易検査）はeラーニング化する。
 - ・講義3（話題提供）については、講義内容も含め、引き続き検討する。
- （講義1と2と同じタイミングではeラーニング化は行わない。）

（講義3が引き続き検討となった理由）

講義3は話題提供であることから、講義内容を統一するか、各開催機関に一任し各機関の裁量で決定するか等、多くの意見が挙がった。早急に決定するのではなく、講義内容や講義実施方法なども含めて、引き続き検討を行うこととなった。

【運用方法】

令和6年度10月以降の甲状腺簡易測定研修より、講義1、2のeラーニング化を開始する。なお、講義1、2の対面形式での開催も、引き続き可能となります。

本決定に伴い、被ばく医療研修認定委員会運用取り決め及びその細則が8月22付で改訂されております。

<https://www.gst.go.jp/site/nirs/rem-committee.html>

引き続き、原子力災害医療研修への一層の充実を図って参りますので、ご支援・ご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上

＜本件問合せ先＞

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

基幹高度被ばく医療支援センター事務局

e-mail : koudo_kikaku@qst.go.jp

【参考：標準動画作成方法および到達度確認テスト実施方法について】

基礎研修 e ラーニングと同様とすることが研修部会で決定した。

《標準動画作成方法》

- 標準テキストおよびノートを基に、読み原稿を作成
- 作成した読み原稿をもとに PPT の動画収録機能を用いて録画
- 読み上げソフトを使用し、ナレーション作成

《到達度確認テスト実施方法》

- テストの実施：受講確認の代わりとして実施
- 出題形式：○×形式
- テストを実施するタイミング：各講義修了直後
- テスト問題数：1 講義あたり 3 問
- プールテスト問題数：1 講義あたり 5～19 問
- 解説付

【参考：講義 1、2 の標準テキスト改訂後の運用方法（対面研修の場合）】

令和 6 年 12 月 1 日以降に開催予定の甲状腺簡易測定研修

甲状腺簡易測定研修の研修開催機関におかれましては、改訂された標準テキストでの講義をお願いいたします。改訂された標準テキストの使用が被ばく医療研修認定委員会（以下、「認定委員会」）での認定の前提となります。

ただし、令和 6 年 11 月 30 日までの甲状腺簡易測定研修につきましては、改訂された標準テキスト、改訂前の標準テキストのどちらの使用でも構いません。